

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～



Vol. 1 発行 横須賀市教育委員会 2022.6

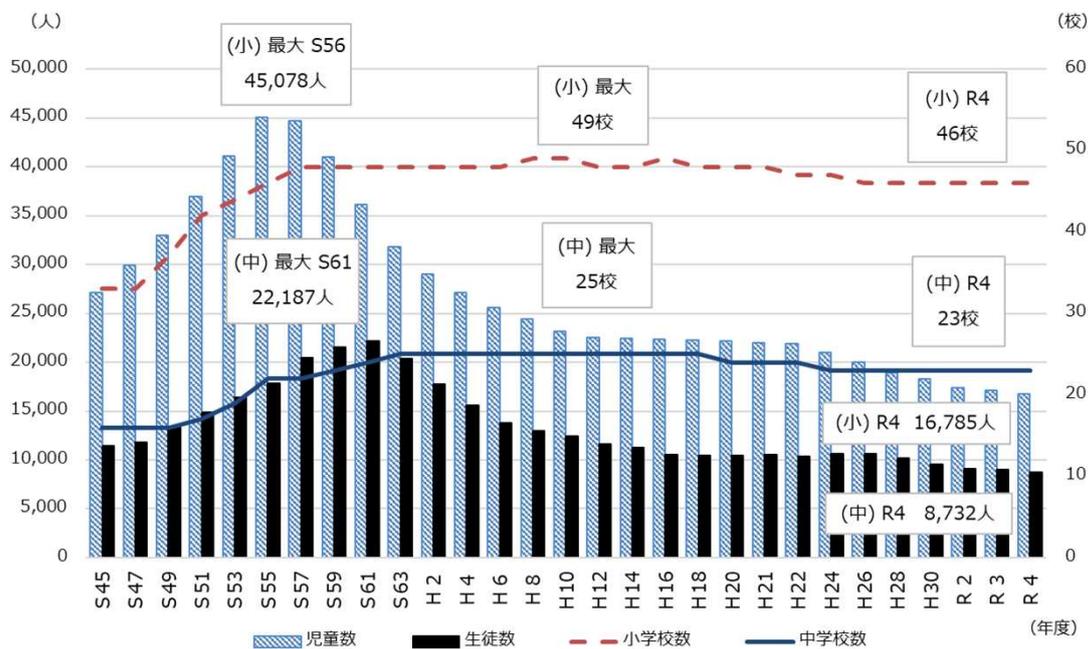
現在、横須賀市では、急激な人口減少に伴う市立小中学校の小規模化や学校施設の老朽化が進んでいる中で、子どもたちにとって安全安心で、より良い教育環境を確保していくために、令和4年3月に「横須賀市教育環境整備計画」を策定し、全市的な視点で、地域ごとの将来像を見据えた対応策の検討を進めています。

このたび、該当地域における課題や改善策等に対する意見を伺い、地域の実情に応じた教育環境の整備を行うため、『走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会』を設置しました。

1 小中学校の児童生徒数の推移について

小中学校の児童生徒数は、令和4年（2022年）5月1日現在で小学校の児童数が16,785人、中学校の生徒数が8,732人となっています。昭和56年（1981年）の児童数のピーク45,078人、昭和61年（1986年）の生徒数のピーク22,187人と比較して、ともに約6割減少しています。児童生徒数が減少している中で、児童生徒の急増期に設置した学校数にはほとんど変化がないため、多くの学校で小規模化が進んでいます。

■小中学校の児童生徒数の推移



2 小中学校の学校規模について

学校教育においては、子ども同士が豊かな人間関係を築き、社会性を身に付け、さまざまな形態による効果的な学習を行ったり、集団の相互作用による思考力の育成を図ったりするために、活動に応じて少人数のグループから大きな集団まで、適切な規模の集団を組み、多様な教育活動を展開する必要があると考えています。

横須賀市では、学校の適正規模の範囲を小中学校ともに12学級から24学級としており、11学級以下の学校を小規模校としています。

現在、小学校46校中14校、中学校23校中12校が小規模校となっています。

3 学校施設の老朽化に伴う建て替え等について

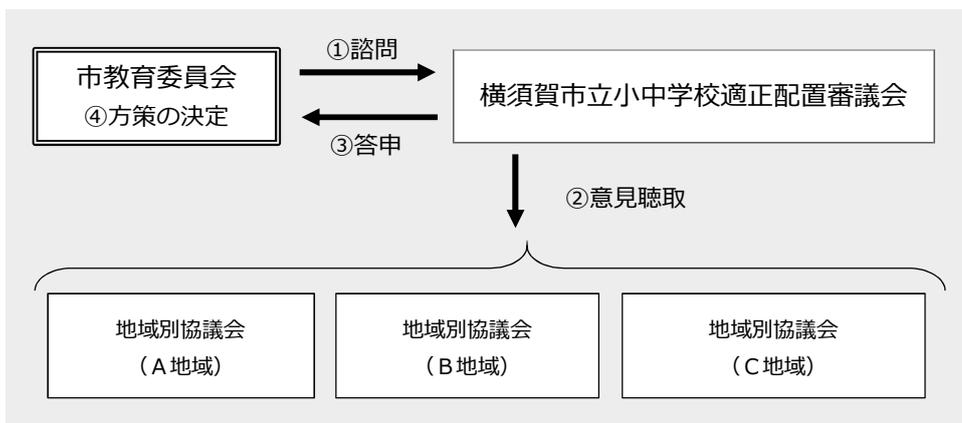
横須賀市の学校施設は、児童生徒数の増加を背景に昭和50年代に集中して建設され、令和2年度（2020年度）時点で、全体の約2割の施設が建築後50年以上経過しています。

また、横須賀市は起伏の多い丘陵地に位置しており、一部の学校では、学校施設の位置する場所が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されています。

敷地が狭い学校については、レッドゾーンを避けて、同じ敷地内に建て替えをすることができない場合もあります。建て替えの検討に当たっては、児童生徒数の将来推計を踏まえた上で、レッドゾーンや学校の敷地面積等に留意しつつ、学校教育に支障がないように考慮していきます。

4 検討の進め方について

対象地域に「地域別協議会」を設置して、地域関係者、保護者、学校関係者の方々の意見を伺いながら、より良い教育環境の整備に向けた検討を行っていきます。



5 検討スケジュールについて

「教育環境整備計画」では、令和4年～令和11年の当面8年間の取り組みを掲載しています。

前期計画（R4～R7）の対象である田浦地域（田浦小・長浦小）と走水・馬堀地域（走水小・馬堀小）は検討を始めています。また、後期計画（R8～R11）では、逸見・中央地域（逸見小・沢山小・桜小・汐入小）の検討を始める予定です。

地域	行政区 (中学校区)	前期計画				後期計画				次期計画	
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降	
田浦地域	田浦行政 (田浦中)	協議会の 設置・検討	→	→	→	【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討					
	田浦小 長浦小										
走水・馬堀地域	大津行政 (馬堀中)	協議会の 設置・検討	→	→	→	【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討					
	走水小 馬堀小										
逸見・中央地域	逸見行政 本庁 (坂本中)				後期計画の見直し					次期計画の策定	【段階的な 検討が必要な 場合】 将来を見据 えた地域全 体の学校配 置の再検討
	逸見小										
	沢山小										
	桜小 汐入小										
地域未定	行政区 (中学校区) 未定	協議会の 設置・検討	→	→	→						
	対象校 未定										

6 走水・馬堀地域の現状

走水・馬堀地域にある3つの小学校（走水小・馬堀小・望洋小）の小規模化が進んでいます。特に走水小は児童数が48人と市内で最も小規模となっており、隣接する馬堀小も単学級が存在する小規模校で、今後も児童数、学級数の減少が見込まれています。

また、望洋小も学区内の大規模開発から20年が経過した現在、11学級となっており、令和10年度（2028年度）には9学級となることが見込まれています。

そこで、まずは走水小と馬堀小の規模適正化の検討を行うこととしますが、将来的には、馬堀中、馬堀小の校舎建て替え時期に合わせて、望洋小も含めた馬堀中学校区全体で小中一貫教育の観点も踏まえた学校の再配置を検討する必要があります。

■対象校の児童・学級数等

学校名		走水小				馬堀小				望洋小			
児童・学級数		児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数
		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
	1年	1	2	3(0)	1	19	22	41(3)	2	21	16	37(2)	1
	2年	4	2	6(1)	1	27	19	46(3)	2	18	28	46(4)	2
	3年	6	5	11(2)	1	18	17	35(1)	1	23	22	45(2)	2
	4年	5	1	6(1)	1	27	27	54(4)	2	30	15	45(4)	2
	5年	2	6	8(1)	1	25	22	47(3)	2	20	28	48(0)	2
	6年	10	4	14(2)	1	27	20	47(2)	2	35	20	55(2)	2
	特支	内数(7)			2	内数(16)			5	内数(14)			3
	計	48			8	270			16	276			14
教員数		15				25				22			
学校施設	校地面積	8,688.82㎡				17,599.59㎡				20,086.80㎡			
	普通教室	11教室				23教室				26教室			
	プール	なし				あり				あり			
設置年月日		明治6年（1873年）9月1日				昭和26年（1951年）10月1日				昭和50年（1975年）4月1日			
建築年度		昭和49年（1974年）				昭和46年（1971年）				昭和49年（1974年）			

■児童・学級数の推計

学校名		R4年度 (実数)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
走水小	児童数	48	42	49	49	50	58	61
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2
馬堀小	児童数	270	261	255	243	253	241	234
	学級数	通常	11	11	11	11	12	11
		特支	5	5	5	5	5	5
望洋小	児童数	276	258	240	234	231	216	206
	学級数	通常	11	12	11	11	11	10
		特支	3	3	3	3	3	3

7 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会（第1回） 令和4年5月30日開催

【委員構成】

地域関係者等、小学校保護者、未就学児保護者、小中学校校長の計12名で構成。

【主な意見の概要】

- 小学校は残してほしいですが、現状を鑑みると個人的には難しいと思います。
- 少子化は全国的な問題であるため、先行している統合の事例などの情報がほしいです。
- 走水は、子どもを育てるにはよい環境です。走水小には、他の小学校にないものがあります。プールが無いために海で泳いだり、海の幸集会やサツマイモを育てて食べたり、ホタルの里の整備や稲作なども行っています。地域との関わりが減ってしまう不安もあります。
- 上の子どもと同じ小学校に通わせたいと思っている方が多いです。1クラス10人程度から、中学校では1クラス40人程度となり心配ですが、子どもはすぐに慣れると思います。
- 走水小の教材の豊かさに感動しています。漁業、海の幸、歴史、神話、走水神社、水源地、美術館、観音崎公園、ホタルの里もあります。地域の皆さまと一緒にこの学習材を再発見していくことにワクワクしています。
- 本協議会の意見が審議会において、反映されるようにお願いします。
- 馬堀小も児童数が減少しており、これまでの活動ができるか心配です。教職員の努力や工夫だけでは難しいこともあると感じており、児童の学習面、集団活動等において活性化した授業を行うには、ある程度の人数が必要であると思います。生活面においても価値観や人間関係が固定化してしまうことが心配です。
- 馬堀小は、地域づくり協議会があり、地域の方々が集まり、草刈りや見守りパトロールなどを行っています。馬堀は温かい方が多く、高齢の方も参加しています。
- 走水は人を呼び込める環境が整っています。市として、若い世代を増やすなどの対策を行っているのでしょうか。
⇒教育、福祉、子育て、医療、防災、地域、産業、観光などに対する方策を全市的に取り組んでいくことが、定住促進や若い世代を呼び込むことにつながると思います。
- 保護者は、統合後、低学年が通学できるか、スクールバスなのか、路線バスなのか、通学補助は出るのかなどを心配しています。

8 次回、第2回協議会の開催について

日時 令和4年7月19日（火）19時00分～20時30分

場所 大津コミュニティセンター 第4、5、6学習室

※傍聴できます。18時50分までに直接会場にお越しください。

定員10名（定員を超えた場合は抽選）

教育環境整備計画は以下のホームページからご覧いただけます

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/tekisei.html>

QRコード



横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849
E-メール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp